

市長メッセージ(陽性確認者の発生・拡大について)

【令和2年12月28日発表分】

本日は、一昨日、昨日と、市役所からご報告した事例にも関連して、新たに陽性確認者 4名及び、昨日ご報告させていただいた弥栄病院の事例を含め、現在の全体的な状況についてご報告とお願いをさせていただきたいと思えます。

まず、新型コロナウイルス感染症に関し、本日、新たに 4名、京丹後市内で陽性確認者が発生した旨、京都府からご連絡をいただきました。

ただ、今回の4名の陽性確認者については、お一人を除き、先日来、ご報告した市内特定施設の利用者、及びその濃厚接触者といった感染経路の中でおおむね確認できるものであり、必ずしも、感染状況が個々に独立して広がって確認されている状況ではありません。また、弥栄病院の事例については、本日、院長より記者発表をいただき、また、特定施設の事例との関連も想定がされるものですが、同時に院内での必要な検査等は既にほぼ終えており、感染拡大の防止、徹底につき、京都府と連携し適切な対応を全力で行っております。

なお、大切な情報として、現在、京丹後市民の入院・療養中の方は30名であります。ただ、現在、関連して実施した全体の検査数、これを単純に足し合わせますと、特定施設の関係、約350例以上、弥栄病院の関係、約190例以上、合わせて概ね合計540例以上にのぼり、広く濃厚接触者など必要な検査を行っていただいております。そして、この検査は、特定施設の関係約100例を除き、本日までに基本的にすべて終えていただいております。その上で、結果として、陽性確認をご報告している先ほどの 30 名以外の方については、すべて陰性でありましたこと、ご報告をいたします。

加えて、今後、本施設等に関連してさらに陽性者が確認された場合にも、京都府丹後保健所により速やかに必要な対応やフォローが適切に進められますので、その点、お伝えさせていただきます。

いずれにしましても、今回、感染された方の一日も早いご回復を市民の皆さんと共に心から願うばかりです。本市として、引き続き、京都府と共に適切な対応に努めてまいります。

私たちとして大切なことは、年末年始はもとより、どんなときでも、どんな生活の場面の中でも、感染予防の重要性を常に自覚し、普段の生活の中でより一層、感染予防をしっかり徹底することです。

①社会的距離の確保、②マスクの着用、③こまめな手洗い、そして、3密(密閉、密集、密接)の回避、です。

とりわけ年末年始、今後、これ以上の感染拡大防止のためにも、これらの感染予防はぜひ、徹底していただきたいと思います。イベントなどでの外出は混雑を避け、必要に応じ時間調整などの工夫を行う、さらには、外出は体調と相談して判断する、普段からこまめな換気と保湿に心がける、その上で全国では会食で感染が広がるケースも増えています。飲食時の大声を控えるなどの予防エチケット、飲み会は2時間までを目安とする、アクリル板などで4人以下の単位にする、そして、全体を通じて、とりわけ、高齢者や基礎疾患のある方への一層厳格な配慮は、徹底的に行っていただきたい、と思います。

なお、発熱や咳等の症状が続く場合、息切れ、強いだるさ、高熱のいずれかの症状がある場合には、すぐにかかりつけ医に、又はかかりつけ医がおられないとか、休日、夜間のご相談は、まずお電話にて「新型コロナ医療相談センター」(075-414-5487)にご相談してください。本相談センターの連絡先は、市役所ホームページのコロナ特設サイト又は市役所広報誌・広報京丹後12月号裏表紙などにも記載しておりますので、ご覧ください。

そして最後に、ぜひともお願いしていることですが、心を込めて繰り返しお伝えいたしたいと思います。

というのも、この先も含め、感染者の方またそのご家族、関係者を巡り、人権侵害になるようなこと、例えば、探し出し、誹謗、中傷、うわさ話などは、決して私たちとして行わない、ということです！むしろ、感染者の健康回復をご一緒に応援していただき、行政としても全力でこのことを守り、ご支援をしてみたいです。市民の皆様にもどうぞよろしくお願いいたします。

いずれにしても、今後とも大切なことはなにより、感染予防の徹底です。市民全体で感染予防対策に取り組み、一丸となってこの難局を乗り越えましょう！

令和2年12月28日

京丹後市長 中山 泰

弥栄病院長からのメッセージ

この度、弥栄病院職員と入院患者さんが、新型コロナウイルス感染症の陽性者であることを確認しました。

12月24日の最初の陽性者の確認以後、陽性者との接触が考えられる職員や他の入院患者さんなど順次190人以上の検査を行いました。12月28日現時点で職員1名、入院患者5名の陽性者以外は、全て陰性を確認しています。

こうした状況のなか、弥栄病院では、市民への安全な医療提供を実現するため、また、感染対策を万全に行いこれ以上の感染拡大を防止するため、12月29日以降もしばらくの間、産婦人科の分娩対応と、人工透析対応以外の救急診療については休診させていただきます。

市民の皆さんにはご迷惑をおかけして誠に申し訳ありませんが、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

1月の外来診療及び救急診療開始につきましては現在未定ですが、決定次第、再度ホームページや防災行政無線でお知らせさせていただきます。

令和2年12月28日

京丹後市立弥栄病院 病院長 神谷 匡昭